

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 30 年 9 月 5 日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	製塩工場におけるCO ₂ 排出削減事業計画
承認番号	JCDM-PJKC1407
排出削減事業者名	株式会社青い海
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
事業実施場所	株式会社 青い海 (沖縄県糸満市西崎町4丁目5番地の4)
事業の概要	本事業は、製塩工場における既存のA重油焚き蒸気ボイラー(2t×3基)を、高効率のLPG焚き蒸気ボイラー(3t×2基)に更新することでエネルギー消費量を削減し、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012年度: 35 tCO ₂ /年 2013年度: 380 tCO ₂ /年 2014-2016年度: 380 tCO ₂ /年 2017年度: 376 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 2,276 tCO ₂)
認証期間	開始日 2013年2月25日 終了予定日 2018年2月24日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2018年2月24日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	872 tCO ₂ （2015年4月1日～2018年2月24日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新後 LPG 焚きボイラーは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における専用メーターおよび燃料販売会社からの請求書等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 燃料供給会社からの請求書による燃料使用量データ、事業実施前後ボイラーのカタログによる効率値及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 LPG 使用量は、専用メーターおよび燃料販売会社からの請求書の値を集計することにより適切に把握していることを確認した。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を本実績報告対象期間における専用メーターおよび燃料販売会社からの請求書等と集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2015 年 4 月 1 日から 2018 年 2 月 24 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2018 年 2 月 24 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、原油換算-19.5KLであることを確認した。

以 上